

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第98回)

2021年 4月～6月期 実績

2021年 7月～9月期 見通し

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項・・・・・・・・・・・・・・・・	1
----------------------	---

調査目的や対象企業（業種）、回答率など

設問に対する業種別回答・・・・・・・・	2
---------------------	---

9つの質問に対する業種別による回答状況

業種別D I 値について・・・・・・・・	5
----------------------	---

6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント

全体D I 値について・・・・・・・・	9
---------------------	---

全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移

比較資料編・・・・・・・・・・・・・・・・	10
-----------------------	----

同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較

（中小企業基盤整備機構、日本商工会議所L O B O調査、日銀短観）

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 令和3年6月
- ② 調査対象期間 今期（令和3年4月～6月期）に対する前期（令和3年1月～3月期）及び前年同期（令和2年4月～令和2年6月期）との比較実績、並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて案分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率
全 体	270	→	229	84.8 (%)
輸送機器	40	→	35	87.5 (%)
その他製造	40	→	33	82.5 (%)
建設業	50	→	46	92.0 (%)
卸売業	30	→	24	80.0 (%)
小売業	40	→	33	82.5 (%)
サービス業	70	→	58	82.9 (%)

5. D I 値について

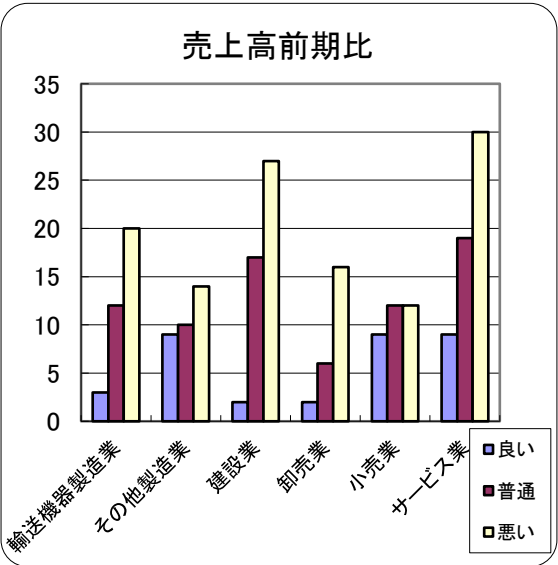
D I とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い（増加）と答えた企業の割合から、悪い（減少）と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

（例：ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、D I 値は▲10.0となる。）

(1)設問に対する業種別回答

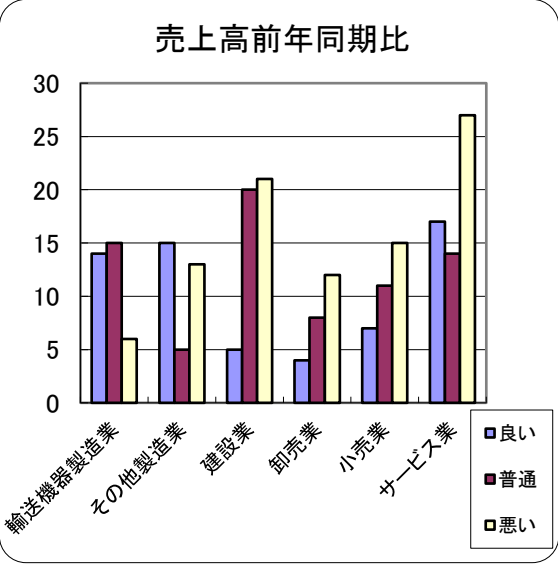
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	3	12	20	35	▲ 48.6
その他製造業	9	10	14	33	▲ 15.2
建設業	2	17	27	46	▲ 54.4
卸売業	2	6	16	24	▲ 58.3
小売業	9	12	12	33	▲ 9.1
サービス業	9	19	30	58	▲ 36.2
合計	34	76	119	229	▲ 37.1



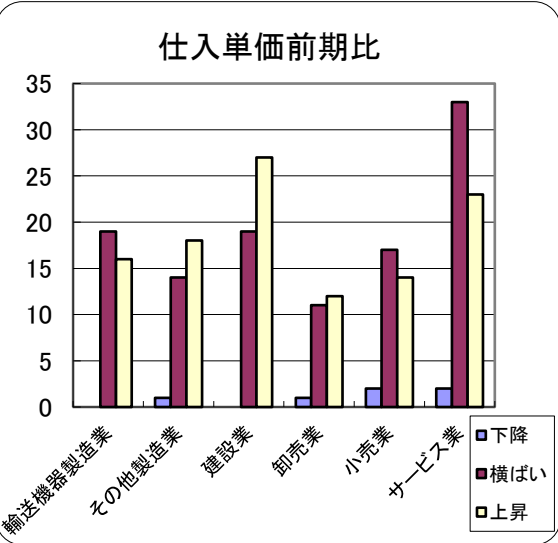
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	14	15	6	35	22.9
その他製造業	15	5	13	33	6.1
建設業	5	20	21	46	▲ 34.8
卸売業	4	8	12	24	▲ 33.3
小売業	7	11	15	33	▲ 24.2
サービス業	17	14	27	58	▲ 17.2
合計	62	73	94	229	▲ 14.0



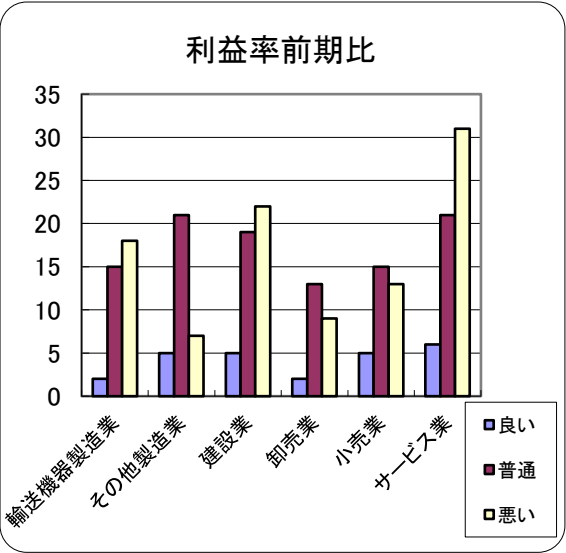
仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	0	19	16	35	▲ 45.7
その他製造業	1	14	18	33	▲ 51.5
建設業	0	19	27	46	▲ 58.7
卸売業	1	11	12	24	▲ 45.8
小売業	2	17	14	33	▲ 36.4
サービス業	2	33	23	58	▲ 36.2
合計	6	113	110	229	▲ 45.4



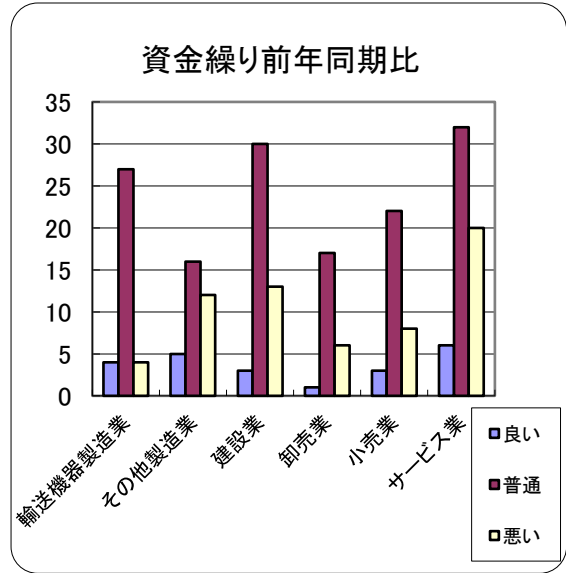
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	2	15	18	35	▲ 45.7
その他製造業	5	21	7	33	▲ 6.1
建設業	5	19	22	46	▲ 37.0
卸売業	2	13	9	24	▲ 29.2
小売業	5	15	13	33	▲ 24.2
サービス業	6	21	31	58	▲ 43.1
合計	25	104	100	229	▲ 32.8



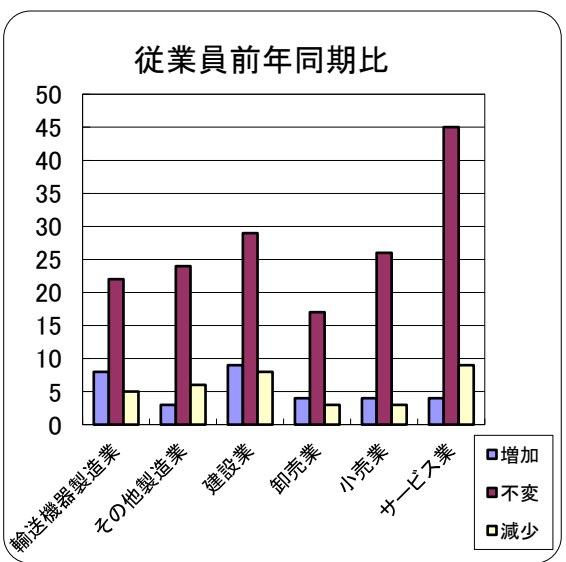
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	4	27	4	35	0.0
その他製造業	5	16	12	33	▲ 21.2
建設業	3	30	13	46	▲ 21.7
卸売業	1	17	6	24	▲ 20.8
小売業	3	22	8	33	▲ 15.2
サービス業	6	32	20	58	▲ 24.1
合計	22	144	63	229	▲ 17.9



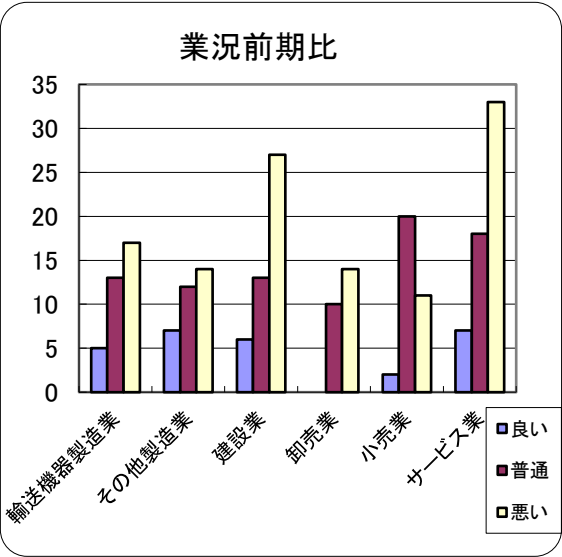
従業員前年同期比

	増加	不変	減少	合計	DI値
輸送機器製造業	8	22	5	35	8.6
その他製造業	3	24	6	33	▲ 9.1
建設業	9	29	8	46	2.2
卸売業	4	17	3	24	4.2
小売業	4	26	3	33	3.0
サービス業	4	45	9	58	▲ 8.6
合計	32	163	34	229	▲ 0.9



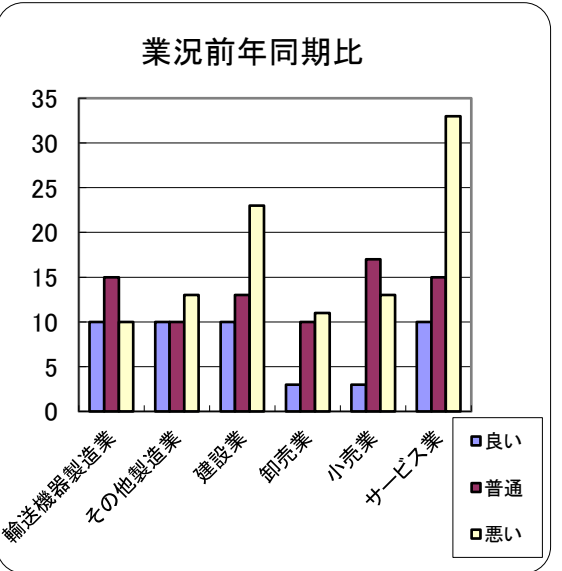
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	13	17	35	▲ 34.3
その他製造業	7	12	14	33	▲ 21.2
建設業	6	13	27	46	▲ 45.7
卸売業	0	10	14	24	▲ 58.3
小売業	2	20	11	33	▲ 27.3
サービス業	7	18	33	58	▲ 44.8
合計	27	86	116	229	▲ 38.9



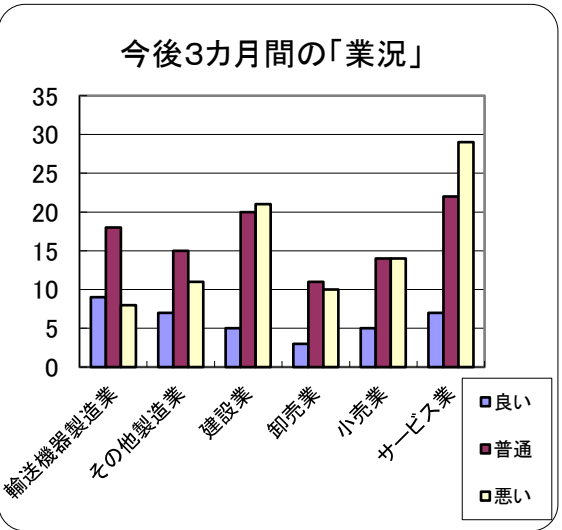
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	10	15	10	35	0.0
その他製造業	10	10	13	33	▲ 9.1
建設業	10	13	23	46	▲ 28.3
卸売業	3	10	11	24	▲ 33.3
小売業	3	17	13	33	▲ 30.3
サービス業	10	15	33	58	▲ 39.7
合計	46	80	103	229	▲ 24.9



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	9	18	8	35	2.9
その他製造業	7	15	11	33	▲ 12.1
建設業	5	20	21	46	▲ 34.8
卸売業	3	11	10	24	▲ 29.2
小売業	5	14	14	33	▲ 27.3
サービス業	7	22	29	58	▲ 37.9
合計	36	100	93	229	▲ 24.9



(2)業種別DI値について

輸送機器	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 53.3	▲ 48.6	4.7
売上高前年同期比	▲ 66.7	22.9	89.6
仕入単価前期比	▲ 16.7	▲ 45.7	▲ 29.0
利益率前期比	▲ 60.0	▲ 45.7	14.3
資金繰り前年同期比	▲ 6.7	0.0	6.7
従業員前年同期比	16.7	8.6	▲ 8.1
業況前期比	▲ 53.3	▲ 34.3	19.0
業況前年同期比	▲ 53.3	0.0	53.3
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 13.3	2.9	16.2

[企業コメントより]

- ・材料、副資材の値上げがひどい【エンジン関連部品製造】
- ・当社は完成車メーカー関連の開発の仕事が多く、半導体の不足により車の生産減と開発を後へずらすとのことで仕事はありません。車以外の御客の開拓に動いています【金型製造】
- ・完成車メーカーの半導体不足による減産が響いているが、回復すれば売上・利益も上がる見通し【金型製造】
- ・先が見えないので、生産数を下げて調整されてしまう【パイプ製造】
- ・半導体と樹脂素材の供給不足による自動車産業への影響【内装部品製造】
- ・今後は売上高は前期以上を見込んでおります。海外向けの部品受注が増加してきている【樹脂製品製造】

その他製造業	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 27.8	▲ 15.2	12.6
売上高前年同期比	▲ 58.3	6.1	64.4
仕入単価前期比	▲ 36.1	▲ 51.5	▲ 15.4
利益率前期比	▲ 44.5	▲ 6.1	38.4
資金繰り前年同期比	▲ 27.8	▲ 21.2	6.6
従業員前年同期比	▲ 8.3	▲ 9.1	▲ 0.8
業況前期比	▲ 36.1	▲ 21.2	14.9
業況前年同期比	▲ 58.3	▲ 9.1	49.2
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 11.1	▲ 12.1	▲ 1.0

[企業コメントより]

- ・早くコロナのワクチンを接種できなければ、この状況は当分続くだろう【ニット製品製造】
- ・現在製造分は過去に受注した分。新規受注が現在減っている感触あり【化学製品製造】
- ・相変わらずの原材料不足と単価高騰により業績改善が遅れている【板金プレス加工】
- ・1年前と比較すると、電動車の開発向けの受注が大幅に増加している【省力化設備】
- ・リフォームや買い替え需要により、前期から引き続き好調に推移。今後も堅調に推移していくことを見込むが、銅価格の上昇や生産体制など課題も多い状況【家電製品製造】
- ・酒類を伴わない飲食店の時短営業で業況感は相当悪くなった。その傾向は特に5月のGW後に顕著にあらわれ、緊急事態宣言の延長で決定的となっている。群馬もまん延防止等重点措置で壊滅的になった業種も多く存在している。速やかに解除を願う【食料品製造】
- ・5月に新聞折込チラシ撒いたので、ポツポツと注文が入ってきたが、巻き返しは見込めそうも無い【住宅内装具製造】
- ・前期は、自動車の組付治具や食品工業の部品の受注があり、特に2月、3月は忙しく、受注が重なる事があった。4月に入ると見積もりや問い合わせの連絡もあまりこなくなつた。同業者と話すると、エンブラが欠品していたり、自動車関係が止まっている影響があり、それがしばらく続く見通し【プラスチック製品製造】

建設業	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 25.0	▲ 54.4	▲ 29.4
売上高前年同期比	▲ 32.5	▲ 34.8	▲ 2.3
仕入単価前期比	▲ 27.5	▲ 58.7	▲ 31.2
利益率前期比	▲ 25.0	▲ 37.0	▲ 12.0
資金繰り前年同期比	▲ 7.5	▲ 21.7	▲ 14.2
従業員前年同期比	5.0	2.2	▲ 2.8
業況前期比	▲ 25.0	▲ 45.7	▲ 20.7
業況前年同期比	▲ 30.0	▲ 28.3	1.7
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 32.5	▲ 34.8	▲ 2.3

[企業コメントより]

- ・3月末期に向けて売上げが伸びたため、比較して4～6月期の売上は落ちているが、今期は増収増益の予想となっている【総合建設業】
- ・木材の価格が上がっている。輸入材が品薄。これからセメントも値上がりする予定【総合建設業】
- ・群馬県、太田市の予算減(発注減)のため(減収)【土木工事】
- ・仕入の単価が上昇しています。建築業は作業員の高齢化が深刻です【空調関係工事】
- ・従業員や下請業者の確保難等の人手不足に苦慮している【電気工事】
- ・建設関係も今年に入り悪い方向(景況感)が色濃くでてきた感じがします【防水工事等】
- ・売上高自体は前年に比べて落ちているが、利益率のやや高い仕事を受けているため、資金繰り等に影響はなし。今後3カ月は、エアコン需要が高まるため、見通しは良いと判断【電気工事】

卸売業	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 40.0	▲ 58.3	▲ 18.3
売上高前年同期比	▲ 48.0	▲ 33.3	14.7
仕入単価前期比	▲ 32.0	▲ 45.8	▲ 13.8
利益率前期比	▲ 40.0	▲ 29.2	10.8
資金繰り前年同期比	▲ 16.0	▲ 20.8	▲ 4.8
従業員前年同期比	12.0	4.2	▲ 7.8
業況前期比	▲ 44.0	▲ 58.3	▲ 14.3
業況前年同期比	▲ 48.0	▲ 33.3	14.7
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 40.0	▲ 29.2	10.8

[企業コメントより]

- ・材料、部品の値上がりの中、物不足も発生しており、調達に苦労している。せっかくの問い合わせも、物が用意できず受注に至らない。メーカー欠品ということでお断りした物が、他社から即納可で、しかも安く入ったとお客様から聞いた。大手の力を感じる。値上がり前の在庫を持っているのは強いと思った【電気関係卸】
- ・太田市住宅リフォーム補助金制度は手続きしてから着工の手続きまで間が長いので、月々の売上(の回収)が延びてしまい資金繰りは大変になる。せめて工事に着工出来るようにならないのか考えてほしい。各業者は受付までに書類を揃えてあるのだから、1カ月先でないと工事出来ない、補助金制度を1回受けた方は10年間保留という決め方は難しい(厳しい)【住宅資材卸】
- ・鋼材、材木の価格高騰、不足【建築工具卸】

小売業	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 13.8	▲ 9.1	4.7
売上高前年同期比	▲ 24.1	▲ 24.2	▲ 0.1
仕入単価前期比	▲ 13.8	▲ 36.4	▲ 22.6
利益率前期比	▲ 27.6	▲ 24.2	3.4
資金繰り前年同期比	▲ 6.9	▲ 15.2	▲ 8.3
従業員前年同期比	▲ 3.4	3.0	6.4
業況前期比	▲ 17.2	▲ 27.3	▲ 10.1
業況前年同期比	▲ 27.6	▲ 30.3	▲ 2.7
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 13.8	▲ 27.3	▲ 13.5

[企業コメントより]

- ・繁忙日の月が去年度と今年度で異なっている為、売上高的には減少・悪化になる項目もありますが、コロナの影響をプラスにとらえ事業スタイル、仕事内容を改善したため、1年間を通してみると、昨年度よりも今年度の方が良くなる、利益アップしていると実感しています【化粧品店】
- ・来店客数は多いので売上高は金額面では多いが、イベントその他の売上が特に悪い。イベントが無いためパートの従業員は1カ月(の)半分出勤である【食品製造販売】
- ・コロナ禍で「まん延防止等重点措置」が実施されるなど、得意先の飲食店の苦境が続いているので、影響を多大に受けています。支援金なども少なく、悪い状況が続いています【飲料販売】
- ・コロナ禍2年目で大きな変化はありません。夏は暑くないと商売になりません。去年と同じくイベントが全く無いのが残念です【飲料販売】
- ・コロナ禍に於いて今後のワクチン接種率の増加に伴う推移を見ないと判断しにくい【洋菓子店】
- ・コロナ禍こそ色々な救済制度があるにもかかわらず、頼りになるのは商工会議所なので、協力金、給付金etc.など早めのタイムリーな連絡があってもいいと思う(提案)。何のための商工会議所なのか…？【米穀・雑貨店】
- ・新規継続客も増えるなど内容的には良い点もあるが、取引先の条件や評価が厳しくなり、利益率は下がっている【化粧品店】
- ・コロナ禍において、売上高は回復しているものの、輸入商材の減少等による仕入原価の増加が起きている。今後の業況に関しては8月以降の繁忙期に向けてワクチン接種が進み、高齢世代の購買欲が増加することを期待している【生花販売】
- ・埼玉に本店がある有名他社が高崎に支店オープン。一気に県内NO. 1の品揃え店になった(競合厳しくなる)【趣味嗜好品店】

サービス業	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 56.9	▲ 36.2	20.7
売上高前年同期比	▲ 68.6	▲ 17.2	51.4
仕入単価前期比	▲ 19.6	▲ 36.2	▲ 16.6
利益率前期比	▲ 43.1	▲ 43.1	0.0
資金繰り前年同期比	▲ 33.3	▲ 24.1	9.2
従業員前年同期比	▲ 5.9	▲ 8.6	▲ 2.7
業況前期比	▲ 56.9	▲ 44.8	12.1
業況前年同期比	▲ 58.8	▲ 39.7	19.1
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 39.2	▲ 37.9	1.3

[企業コメントより]

- ・営業部門の人的リソース不足【情報サービス】
- ・半導体部品の不足の影響で、自動車の生産が制約を受けています。この先の情報が完成車メーカーから入らないので(今後の)読みが難しいです【陸送業】
- ・なんといってもワクチンの遅れが一番打撃になっていると思います。物が動いていないです【運送業】
- ・オリンピックを前にして、最近(人の)動きが違う。夜の遊びが我慢できなくなってきたようだ【飲食・食品販売】

- ・特に観光サービス、飲食業は生き残りに掛けて大変困難な状況である。ここまでくると、あとはワクチン接種で終息を期待するしかない【広告・サービス】
- ・まん延防止により、営業時間の短縮と酒類の提供が出来ないため、お客様も来店してくれる方が限られてしまい、営業しているものの、売上は全く悪い日々が続いています【レストラン】
- ・(※一部要約しました) 去年は緊急事態宣言の時短により売上は低迷。今回も同様である。
今回のまん延防止重点措置での飲酒の機会を設けないのも売上低迷の大きな要因となっている。
- ・時短の協力金、まん延防止の協力金の申請と同時の6月下旬の受付開始となってしまっている。
だが、まずは時短要請の協力金の受付は先にしてもらいたい。群馬県からの時短要請がまん延防止に切り替わったせいで、受付が6月下旬に延びるのは受け入れ難い。
- ・同様にまん延防止重点措置の協力金は要請が6月13日までと先が分かっている。なら、13日の次の日からでも申請を受付できるように今からでも準備できるのではないか。
- ・まん延防止重点措置は数日で施行が決まるのに、協力金の申し込みはなぜ1ヶ月先の措置終了後のさらに先なのか。今からでも準備始めれば措置終了の14日(月)から申請ができるようになるのではないか【飲食業】
- ・5月上旬、ゴールデンウィーク明けより、時短営業、そしてまん延防止措置。とにかく悪い(状況が続いている)。特にまん延防止が効いています【ケータリング】
- ・コロナ禍でもご来店いただいているお客様を大切に維持するしかないです【理容業】
- ・売上高は単価が1～3月に対し1.5～2倍近く上がっている為、変わらないか増加だが、取扱数量が自動車関連が多いため激減している。収益は取扱数量に準ずるため大幅に利益は見込むことは出来ない。今後は自動車産業の動向次第である。地元メーカーに限らず、ホンダや日産の動向を注視していきたい【資源回収】
- ・東京では、コロナで人が動かなく、全く集客出来ないほど影響がダイレクトにきました。
太田市へ移転してきて、コロナの影響は、あるものの、東京に比べると人が動けること、お店の広さも大きく出来たことで、感染対策を徹底したお店運営が出来るので、良くなっています【美容室】
- ・昨年3月から7月まで売上減でしたが、本年は徐々に平年に戻りました【理容室】
- ・時短、まん延でさらに終日、お酒の販売ができないのがものすごくマイナス。お客様が飲めないから帰ってしまう【飲食業】
- ・コロナ後に向けて消費者のマインドが回復傾向にある【教育サービス】
- ・ウェディングシーズンなので売上増(になっている)【レンタル】
- ・ワクチン接種の遅れによる不安を早く解消出来れば、景気も回復傾向になると思う【美容室】
- ・やはりコロナが落ち着くまで、飲食業は厳しいと思います。お客様もかなり神経質になられているのが判ります【喫茶店】
- ・度重なる時短要請に加えて、まん延防止重点措置による終日の酒類の販売禁止は売上に大きく響いた。
解除されても以前のように戻るには相当な年月が必要だろう。夜だけでなく、日中も客足は遠のいてしまっている。外食をしないことに慣れてしまっているのかもしれない。今後は別の方向性も考えつつ、お客様が戻って来てくれるような魅力ある店づくりを考えなければならないと感じている【飲食業】

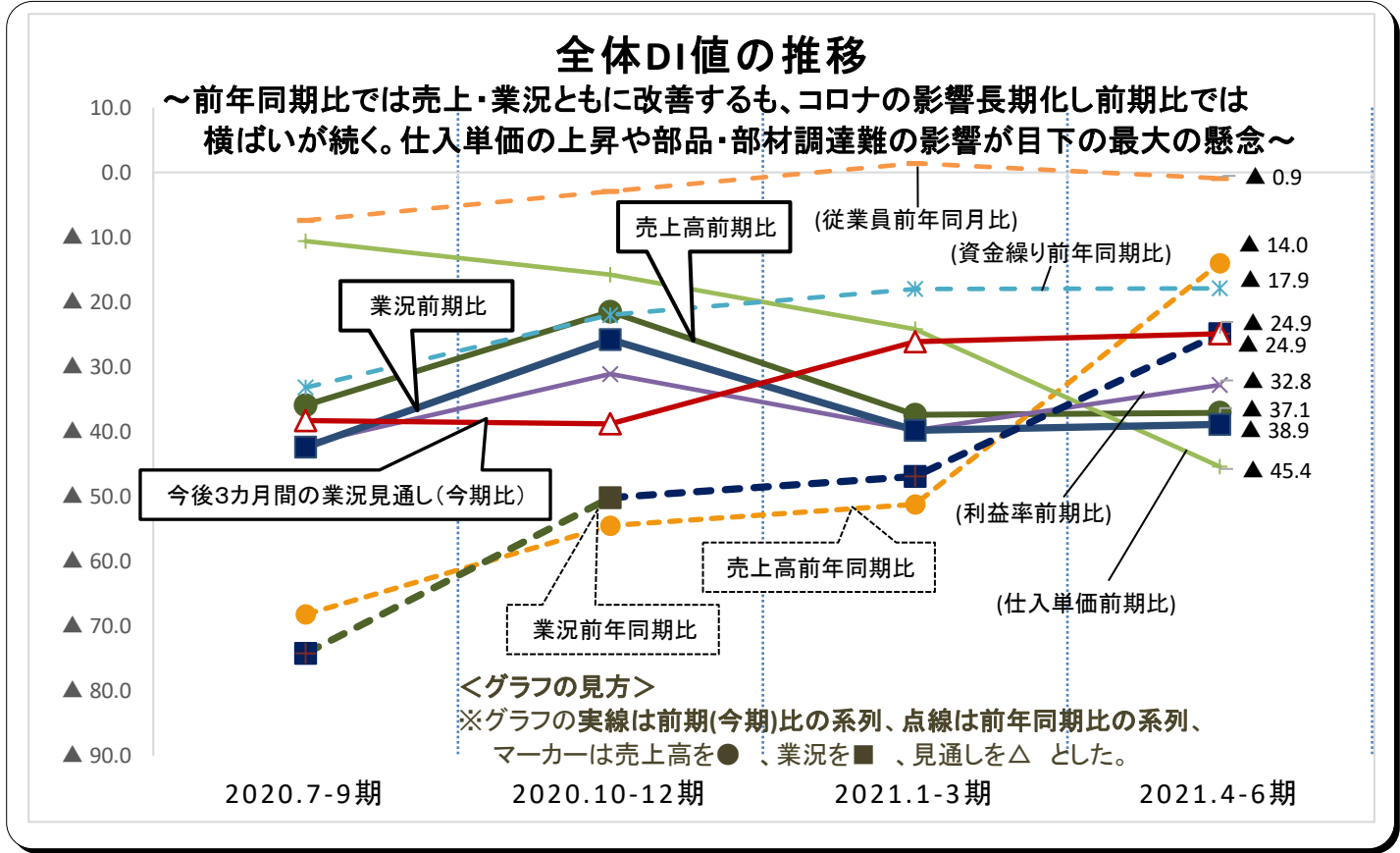
(3) 全体DI値について

全 体 D I 値	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 37.4	▲ 37.1	0.3
売上高前年同期比	▲ 51.2	▲ 14.0	37.2
仕入単価前期比	▲ 24.2	▲ 45.4	▲ 21.2
利益率前期比	▲ 39.8	▲ 32.8	7.0
資金繰り前年同期比	▲ 18.0	▲ 17.9	0.1
従業員前年同期比	1.4	▲ 0.9	▲ 2.3
業況前期比	▲ 39.8	▲ 38.9	0.9
業況前年同期比	▲ 46.9	▲ 24.9	22.0
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 26.1	▲ 24.9	1.2

(4) 動向について

- ・全産業ベースでみると、昨年の最悪期との比較となる前年同期比では売上・業況ともに大幅に改善したものの、前期比ではコロナの影響がなお重く横ばいの状況である。
- ・今期は全ての業種で仕入単価DIの低下(=単価の上昇傾向)がみられ、部品・部材の高騰・調達難が懸念されている。影響が大きい建設業の業況DIは、前期比で20ポイント以上下落した。
- ・今後3カ月の見通しについては、コロナ感染再拡大とワクチン接種の進展の両方を見据えつつ、全産業ベースではほぼ横ばいを予想している。業種別には輸送機器、卸売業で今期比上昇、小売業で低下を見込んでいる。

全 体 D I 値 の 推 移	2020.7-9期	2020.10-12期	2021.1-3期	2021.4-6期
売上高前期比	▲ 35.9	▲ 21.5	▲ 37.4	▲ 37.1
売上高前年同期比	▲ 68.2	▲ 54.5	▲ 51.2	▲ 14.0
仕入単価前期比	▲ 10.6	▲ 15.8	▲ 24.2	▲ 45.4
利益率前期比	▲ 41.9	▲ 31.1	▲ 39.8	▲ 32.8
資金繰り前年同期比	▲ 33.2	▲ 22.0	▲ 18.0	▲ 17.9
従業員前年同期比	▲ 7.4	▲ 2.9	1.4	▲ 0.9
業況前期比	▲ 42.4	▲ 25.8	▲ 39.8	▲ 38.9
業況前年同期比	▲ 74.2	▲ 50.2	▲ 46.9	▲ 24.9
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 38.3	▲ 38.8	▲ 26.1	▲ 24.9



(5)比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、1～3月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 32.4	▲ 14.1	－	－
建設業	▲ 54.4	▲ 15.3	－	－
卸売業	▲ 58.3	▲ 20.4	－	－
小売業	▲ 9.1	▲ 34.6	－	－
サービス業	▲ 36.2	▲ 31.6	－	－
全 体	▲ 37.1	▲ 25.4	－	－

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	14.7	－	▲ 10.3	4.0
建設業	▲ 34.8	－	▲ 16.4	1.7
卸売業	▲ 33.3	－	▲ 10.8	
小売業	▲ 24.2	－	▲ 21.6	
サービス業	▲ 17.2	－	▲ 18.9	
全 体	▲ 14.0	－	▲ 16.0	2.2

(↑ 非製造業という括り)

③仕入単価前期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 48.5	－	▲ 39.7	－
建設業	▲ 58.7	－	▲ 46.6	－
卸売業	▲ 45.8	－	▲ 37.6	－
小売業	▲ 36.4	－	▲ 26.5	－
サービス業	▲ 36.2	－	▲ 24.4	－
全 体	▲ 45.4	－	▲ 33.8	－

(仕入単価・前年同期比)

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 26.5	▲ 20.9	▲ 17.9	10.2
建設業	▲ 37.0	▲ 21.7	▲ 18.7	0.8
卸売業	▲ 29.2	▲ 18.7	▲ 19.5	
小売業	▲ 24.2	▲ 36.3	▲ 26.1	
サービス業	▲ 43.1	▲ 29.0	▲ 28.7	
全 体	▲ 32.8	▲ 27.2	▲ 22.7	3.1

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比) (経常利益・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 10.3	▲ 14.0	▲ 13.0	11.0
建設業	▲ 21.7	▲ 7.1	▲ 5.1	13.0
卸売業	▲ 20.8	▲ 10.0	▲ 11.8	
小売業	▲ 15.2	▲ 23.9	▲ 20.2	
サービス業	▲ 24.1	▲ 23.5	▲ 27.5	
全 体	▲ 17.9	▲ 18.4	▲ 16.9	10.0

(前期比)

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	0.0	▲ 5.7	—	—
建設業	2.2	▲ 0.7	—	—
卸売業	4.2	▲ 5.3	—	—
小売業	3.0	▲ 3.7	—	—
サービス業	▲ 8.6	▲ 8.7	—	—
全 体	▲ 0.9	▲ 5.5	—	—

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 27.9	▲ 17.2	—	▲ 7.0
建設業	▲ 45.7	▲ 13.9	—	10.0
卸売業	▲ 58.3	▲ 19.3	—	▲ 14.0
小売業	▲ 27.3	▲ 35.3	—	▲ 11.0
サービス業	▲ 44.8	▲ 32.3	—	▲ 74.0
全 体	▲ 38.9	▲ 25.8	—	▲ 8.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）

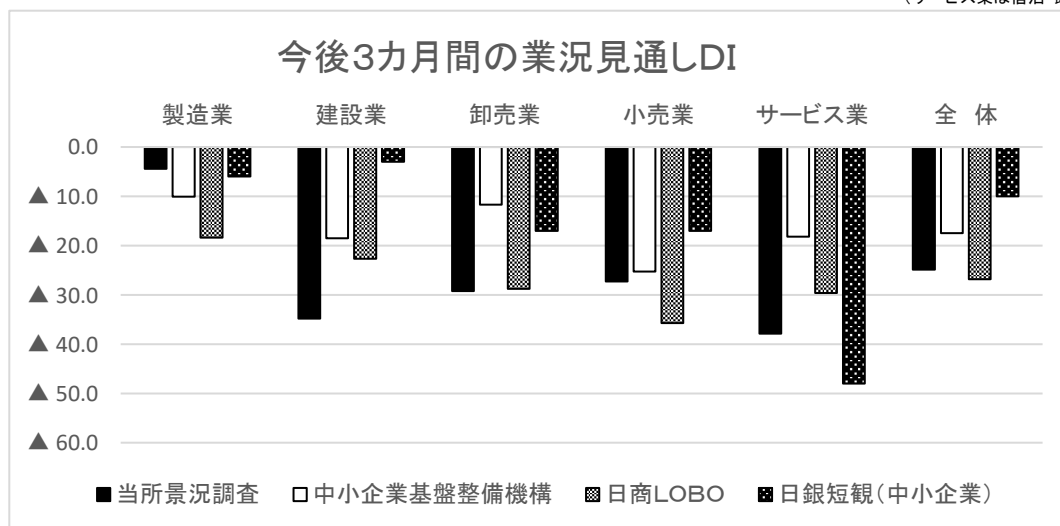
⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 4.4	—	▲ 17.9	—
建設業	▲ 28.3	—	▲ 18.1	—
卸売業	▲ 33.3	—	▲ 25.6	—
小売業	▲ 30.3	—	▲ 32.3	—
サービス業	▲ 39.7	—	▲ 32.5	—
全 体	▲ 24.9	—	▲ 25.7	—

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 4.4	▲ 10.1	▲ 18.4	▲ 6.0
建設業	▲ 34.8	▲ 18.5	▲ 22.7	▲ 3.0
卸売業	▲ 29.2	▲ 11.7	▲ 28.8	▲ 17.0
小売業	▲ 27.3	▲ 25.3	▲ 35.7	▲ 17.0
サービス業	▲ 37.9	▲ 18.2	▲ 29.6	▲ 48.0
全 体	▲ 24.9	▲ 17.5	▲ 26.8	▲ 10.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2021年（令和3年）7月2日 発行